

がん治療の“今”がわかる専門情報誌

 愛知県がんセンター

がんセンター NEWS

Aichi Cancer Center
NEWS

2025年
5月
vol.92

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース

MDアンダーソンがんセンターと 合同シンポジウムを開催(2ページ)

がんの疑いのある方への二次検査のご案内(2ページ)

新任医師のご紹介(2・3ページ)

名古屋大学と包括協定を締結しました(3ページ)

病院トピックス

消化器外科部長 安部 哲也・形成外科部長 奥村 誠子

新部長就任のごあいさつ(4ページ)

研究所トピックス

研究所副所長 兼 がん病態生理学分野長 兼 共通機器室長 青木 正博

研究を支える共通機器室の役割(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】

新玉ねぎとわかめの塩麴ナムル(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】

愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)

ワールドキャンサーデーに参加しました(7ページ)

第22回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました(7ページ)

【シリーズ:とうろく医探訪】No.35

じゅんこ乳腺クリニック

院長:石黒 淳子 先生(6ページ)

MDアンダーソンがんセンターと 合同シンポジウムを開催

運用部経営戦略課企画・経営グループ 主査 虫鹿 友規

令和7年2月15日、米国テキサス州ヒューストンを拠点とする世界最大規模の総合がんセンターであるMDアンダーソンがんセンターの研究者を招聘して、国際シンポジウムを開催しました。これは、令和6年12月1日に迎えた開設60周年の記念事業の一つとして、医療・研究レベルの更なる向上により、県民の健康・安全・安心に貢献するために開催したものであり、当日は知事からも挨拶がありました。

テーマは、「Collaborative Horizons in Cancer Research: Translational, Clinical, and Epidemiological Perspectives(共同事業によるがん研究の新たな展開:トランスレーショナル研究、臨床研究、疫学研究からの展望)」で、MDアンダーソンがんセンターのDr. Samir Hanashによる基調講演を始め、当センター及びMDアンダーソンがんセンターの両施設併せて10名が講演を行い、センター内外の合計253名が参加しました。



がんの疑いのある方への二次検査のご案内

愛知県がんセンターでは、人間ドックや健康診断でがんの疑いがあると診断された方に対し、二次検査を実施しております。ご希望の方は、予約なしでも受け付けておりますので、当センター総合案内までお越しください。

なお、待ち時間が長くなりますこと、また、状況によっては当日に診察を受けられない場合がございますこと、あらかじめご了承ください。

【開業医の先生方へ】

クリニックでの検診の結果、がんの疑いがある患者さんがみえましたら、疑いの段階でもかまいませんので、当院にご紹介ください。

新任医師のご紹介

乳腺科部 医長

秋田 由美子 Yumiko Akita

経歴 熊本大学卒、
日赤名古屋第二病院、
名古屋掖済会病院、
名古屋大学医学部附属病院

専門分野 乳腺外科

専門医等資格等 乳腺専門医・
認定医、外科専門医

一言 乳がんの治療戦略を、
皆さまと共に考えていきたいと思ひます。



放射線診断部 医長

長谷川 貴章 Takaaki Hasegawa

経歴 名古屋大学卒、市立四日市病院、
三重大学医学部附属病院、
愛知県がんセンター、
マサチューセッツ大学

専門分野 Interventional
Radiology (IVR、画像下治療)

専門医等資格等 日本医学放射線学会、
放射線診断専門医日本IVR学会、IVR専門医

一言 できるだけ負担が少ない方法でがんの
診断や治療に関われるように努力いたします。



遺伝子病理診断部 医長

八木 春奈 Haruna Yagi

経歴 山形大学卒、
聖隷三方原総合病院、
浜松医科大学医学部附属病院、
名古屋大学医学部附属病院

専門分野 病理診断科

専門医等資格等 病理専門医、
細胞診専門医

一言 幅広い臓器の病理診断を
行います。より良い治療につながるよう、
正確な診断に努めます。



婦人科部 医長

植草 良輔 Ryousuke Uekusa

経歴 名古屋大学卒、
豊橋市民病院、名古屋大学
医学部附属病院

専門分野 婦人科腫瘍

専門医等資格等 日本産科婦人科学会
産婦人科専門医、日本婦人科腫瘍
学会婦人科腫瘍専門医、日本産科
婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

一言 患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、丁寧な
診療を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科部 医長

武内 祐史郎 Yushiro Takeuchi

経歴 三重大学卒、鈴鹿中央総合病院、
三重大中央医療センター、市立伊勢
総合病院、三重大学医学部
附属病院、名古屋セントラル病院

専門分野 一般泌尿器科

専門医等資格等 泌尿器科専門医

一言 患者さん一人一人と向き合い、
その人にとって最も適した治療を行えるよう努めて
いきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



泌尿器科部 医長

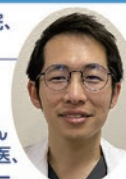
川瀬 真 Makoto Kawase

経歴 岐阜大学卒、大垣市民病院、
岐阜大学医学部附属病院

専門分野 泌尿器科癌、
前立腺癌、腎移植

専門医等資格等 泌尿器科専門医、がん
治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、
泌尿器ロボット支援手術プロクター、
日本移植学会認定医、臨床腎移植学会専門医

一言 患者さん一人一人の希望を汲み取った
上での最新最良の治療を届けます。



名古屋大学と包括協定を 締結しました

運用部管理課総務グループ
課長補佐 杉山 理津子

愛知県と名古屋大学は、2018年10月に愛知県がんセンターと名古屋大学大学院医学系研究科との連携・協力に関する協定を、2023年10月には医学以外の分野との連携・協力に関する協定を締結し、「共同研究」や「人材育成」などに取り組んでまいりました。

これまでの連携協力関係を一層進め、より強固で密接な共同関係に深化させるため、2025年2月17日、アライアンスの形成に関する新たな包括協定を締結しました。

本包括協定では、愛知県がんセンターが持つ病院と研究所が一体となった総合がんセンターとしての機能と、名古屋大学が持つ東海地区随一の人的資源や最先端の総合研究大学としての機能など、お互いの強みを生かしながら、世界をリードする高度ながん研究拠点を形成し、がん医療と予防におけるイノベーションの創出を目指してまいります。



新しい医師が入りました



頭頸部外科部 医長

横井 麻衣 Mai Yokoi

経歴 藤田医科大学卒、
名古屋医療センター、
日赤愛知医療センター
名古屋第一病院、小牧市民病院、
名古屋大学医学部附属病院

専門分野 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

専門医等資格等 耳鼻咽喉科専門医

一言 患者さんに寄り添った医療を実践し、
よりいっそう精進いたします。



消化器内科部 医長

松本 慎平 Shinpei Matsumoto

経歴 京都大学卒、
京都大学医学部附属病院、
大津赤十字病院、愛知県がんセンター

専門分野 消化器内科

専門医等資格等 内科学会認定医、
消化器病学会専門医、
消化器内視鏡学会専門医

一言 患者さんお一人おひとりに合った、最適な
医療を提供できるよう、精進いたします。



消化器外科部 医長

稲田 巨佑 Kousuke Inada

経歴 名古屋大学卒、総合神間第一
病院、豊田厚生病院、豊橋市民病院、
名古屋大学医学部附属病院、
国立長寿医療研究センター

専門分野 消化器外科

専門医等資格等 外科専門医
消化器外科専門医

一言 患者の皆さんに、安心して
治療を受けていただけるよう、丁寧な診療を
心がけていきます。



循環器科部 医長

小川 隼人 Hayato Ogawa

経歴 名古屋大学卒、
公立陶生病院、名城病院

専門分野 循環器内科学

専門医等資格等 総合内科専門医、
循環器専門医

一言 患者様のがん治療が安全に
行うことができるように、サポート
いたします。



呼吸器内科部 医長

田宮 裕太郎 Yutaro Tamiya

経歴 筑波大学卒、日赤愛知医療センター
名古屋第一病院、久美愛厚生病院、
名古屋大学医学部附属病院、
国立がん研究センター東病院、
中東連総合医療センター、中京病院

専門分野 呼吸器内科

専門医等資格等 総合内科専門医、
呼吸器専門医、がん薬物療法専門医、気管支鏡指導医

一言 一人ひとりの患者さんに最良の医療を提供
できるよう、努めてまいります。



血液・細胞療法部 医長

河合 秋美 Akimi Kawai

経歴 岐阜大学卒、
名古屋市立大学病院、
豊川市民病院

専門分野 血液内科

専門医等資格等 内科専門医、
血液内科専門医

一言 患者さんに寄り添った診療を
提供できるように精進致します。



消化器外科部長就任のごあいさつ

消化器外科部長 安部 哲也



2025年4月1日より消化器外科部長を拝命いたしました安部哲也と申します。1993年に名古屋大学を卒業後、豊橋市民病院、癌研究会附属病院、名古屋大学医学部附属病院勤務を経て、2008年9月に愛知県がんセンターに赴任し、約17年間、消化器外科、特に食道がんの手術治療の開発に取り組んでまいりました。

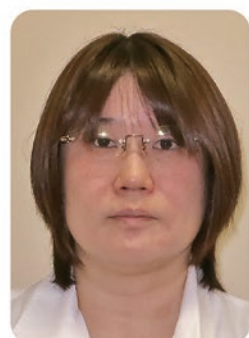
消化器外科は食道、胃、大腸、肝胆膵の4グループからなり、各グループが協力しながら消化器がんの外科治療を行っています。ロボット支援下手術などの最先端の低侵襲手術や、消化器内科部、薬物療法部、放射線治療部など院内の多くの部門と連携しながら、最新のエビデンスに基づく術前・術後の治療開発にも積極的に取り組んでまいりました。

患者さん一人ひとりが安心して外科治療を受けられるよう、消化器外科スタッフとともに、誠心誠意、安全かつ最新の科学的根拠に基づいた外科治療を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



形成外科部長就任のごあいさつ

形成外科部長 奥村 誠子



2025年4月1日より形成外科部長を拝命いたしました奥村誠子と申します。

私は2012年4月に愛知県がんセンターに赴任しました。当時は形成外科が独立して4年が経過したところで、頭頸部の再建以外にも必要とする再建を担っていく最中で、私は主に乳房再建を担当し、診療を行ってきました。

現在は、乳房再建、頭頸部再建を主軸とし、整形外科、消化器外科、婦人科での再建を行っています。近年ではリンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合という手術治療の件数も増加しています。

形成外科部一同、関係各科や医療スタッフと連携し、最善の手術を安全に提供できるように努めてまいります。

他院で乳癌治療を受けられた患者さんの2次乳房再建と、他院での癌治療後に発症したリンパ浮腫に対する手術治療をさせていただいています。いつでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

栄養管理部おすすめメニュー

調理師：原 邦彦 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「新玉ねぎとわかめの塩麴ナムル」

新玉ねぎは、乾燥せずに出荷するため、辛味が少ないのが特徴です。さらしすぎないようにしましょう。ぜひ作ってみてください。



材料(4人前)

- ★新玉ねぎ 1個(約250g)
- ★生食用わかめ 100g
(乾燥わかめの場合は5g程度)
- ～調味料～
- ★塩麴 大さじ1と1/2
- ★しょうゆ 大さじ1/2
- ★ごま油 大さじ1
- ★白ごま 大さじ1
- ★おろしにんにく 小さじ1

作り方

- ①玉ねぎは薄くスライスし、玉ねぎがかぶる程度の水に浸し、5分程さらす。
- ②ボウルに調味料を混ぜ合わせしっかりと水分を切った玉ねぎと食べやすいサイズに切ったわかめを加えて完成。仕上げにかつおぶしをかけても。





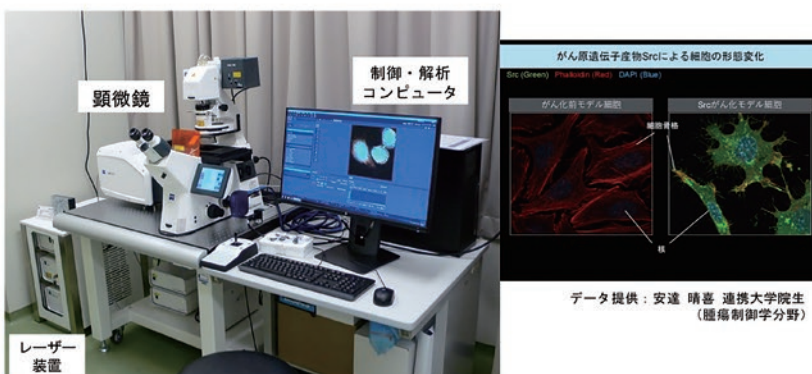
研究を支える共通機器室の役割

研究所副所長 兼 がん病態生理学分野長 兼 共通機器室長 青木 正博

愛知県がんセンター研究所の「共通機器室」は、研究に必要な共同利用機器や設備の維持・管理を担う部門です。近年のがん研究には極めて高度な精密機器が必要となっており、各研究分野で機器を個別に所有するのではなく、共通機器室を活用することで経費を削減するとともに、研究所内の共同研究活性化にも貢献しています。現在、室長(兼任)1名、主任研究員1名、技師2名、嘱託技師2名が在籍し、共同利用機器の整備・管理に加えて、研究所の設備の維持管理、セキュリティ運営などを担当しています。

最近では、デジタルPCRシステム、フローサイトメータ、生細胞解析システムなどの最先端の研究機器を導入し、利便性を損なわずに安全性を確保できるよう管理・運営しています。また、設備の老朽化対策として、セキュリティシステムの更新等を実施しました。

共通機器室では、各分野が保有する利用可能機器の可視化や技術セミナーの開催などを通して共同利用を促進しています。共同利用機器の活用により、分野を越えた連携が進み、新たな研究の展開にもつながっています。機器の高度化が加速する中、研究者と連携しながら最先端のがん研究を支えるインフラ整備を続け、愛知県がんセンター全体の研究発展を介して、愛知県民の健康増進にも寄与できることを目指しています。



共焦点レーザー顕微鏡

左の写真は、共焦点レーザー顕微鏡の全体像です。レーザーを発生させる装置、顕微鏡、制御・解析コンピュータで構成されています。共焦点レーザー顕微鏡は、特定の平面の画像を鮮明に撮影する装置です。特定の生体分子を蛍光染色してレーザーを照射し、生体分子の局在を調べることができます。右の写真は、がん化前の細胞とがん化後の細胞の形態を比較した写真です。細胞の形態が大きく変化していることが分かります。

愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
企画・経営グループ

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (代)
FAX 052-764-2963
メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ちしております。

アンケートの回答はこちらから

※アンケートは5分程度でお答えいただけます。
※アンケートの締め切りは、6月30日です。

PCの方は
こちらから

<https://x.gd/ijLgI>

スマートフォンの
方はこちらから

がんセンター
NEWS
第92号読者
アンケート



じゅんこ乳腺クリニック 院長:石黒 淳子 先生

お世話になります。じゅんこ乳腺クリニック石黒です。

私は、愛知県がんセンター中央病院で乳腺科・医長として6年間乳がん診療に携わり、その後、併設の研究所で乳がん遺伝子について研究しました。そして、地元の一宮でもがんセンターと同じように乳がんの診断や治療を安心して受けられる環境を整えたいと考え、2018年に専門クリニックを開業しました。名鉄・JR「一宮駅」から徒歩5分の場所にあり、駐車場も完備しています。高速道路も近く、遠方からも患者さんが来られます。ほどよく田舎でほっと一息つけるのではないのでしょうか。

当院の特徴は専門性が高いことです。3Dマンモグラフィと、3台の乳腺超音波を有しています。診断は、経験豊富な女性技師と乳腺専門医が担当し、精度の高い検査を提供しています。また、ホルモン治療の副作用のひとつである骨粗鬆症の診断にDEXAも備えています。

乳がんと診断したら、患者さんが適切な治療を受けられるよう、治療の流れを説明し、信頼のおける連携する病院を選びます。がんセンターは当院から少し遠いですが、専門医による高度な治療を受けられること、治療の豊富さや医師以外のスタッフの知識・経験の充実、再建手術の美しさなどの利点があります。乳がん診療のパートナー病院として、心強く思っています。

当院ではそのほか、術後の治療をサポートしていくため、漢方治療や、リンパ浮腫や倦怠感のある方のために、マッサージやホットストーンマッサージのできる環境も整えました。みなさんが笑顔になれますように！



医療機関情報

じゅんこ乳腺クリニック

診療科目 乳腺外科

電話 0586-64-9105

所在地 〒491-0904
愛知県一宮市神山1-2-14ホームページ <https://junko-nyusen.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	/
15:00~17:00	●	●	◎	/	●	/	/

●診療日 / 休診日 ◎16:00~19:00



一宮総合駅下車 西出口より徒歩5分

一宮総合駅西口を出て「ローソン」を右手に直進し、「トヨタレンタリース」を左手に見ながらそのまま進み、左手に「セブンイレブン」が見えたら、その向かいの「ニッポンレンタカー」の隣です。

編集
後記

第35回は一宮市にある、じゅんこ乳腺クリニック、石黒淳子先生です。モダンな外観でありながら茶色を基調としたナチュラルで温かみのある空間に、ピンクのユニフォームのスタッフが気持ちよく迎えてくれます。最新機器を備え、専門性の高い診療と石黒先生を中心としたチームワークの良さ、好立地かつ駐車場も完備し、そのすべてが「あなたの心配を、安心に変えたい。」という優しいメッセージにつながっています。わかりやすいホームページも必見です。これからもよろしくお願いいたします。 y.sano



令和7年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	テーマ	講演者
1	R7.5.23(金)正午～ R7.6.9(月)正午	第1回「食道がん治療の最前線」 1.食道がん概説 2.手術療法 3.薬物・放射線治療(術前含む)	司会 消化器外科部長 安部哲也 1.消化器外科部 安部哲也部長 2.消化器外科部 檜垣栄治医長 3.薬物療法部 門脇重憲医長
2	R7.7.18(金)正午～ R7.8.4(月)正午	第2回「がんゲノム検査とがん治療」 1.がんゲノム検査とその意義(概論) 2.新しく始まった血液疾患に対するゲノム検査 3.がんゲノムと治療 4.がんのリスク予測	司会 ゲノム医療センター長 衣斐寛倫 1.ゲノム医療センター 衣斐寛倫センター長 2.血液・細胞療法部 楠本茂部長 3.ゲノム医療センター 梅垣翔医長 4.研究所がん予防研究分野 松尾恵太郎分野長
3	がん征圧月間 (がん征圧講演会) R7.9.12(金)正午～ R7.9.29(月)正午	第3回「正しく知ろう!がん検診 ～腹部超音波スクリーニング検査も加わって～」 1.がん検診について(概論) 2.大腸がん撲滅に向けての第一歩 3.小さな膵がんを見つけるために 4.肝がん検診について(仮) 5.婦人科がん検診について 6.前立腺がん検診の最新情報	司会 内視鏡部長 田近正洋 1.研究所がん情報・対策研究分野 伊藤秀美分野長 2.内視鏡部 田近正洋部長 3.消化器内科部 羽場真医長 4.放射線診断・IVR部 稲葉吉隆部長(仮) 5.婦人科部 渡邊絵里医長 6.泌尿器科部 小島崇宏部長
4	R7.11.7(金)正午～ R7.11.25(火)正午	第4回「乳がんの最新情報」 1.乳がん検診 2.手術療法 3.乳房再建術 4.薬物療法 5.予防・遺伝	司会 乳腺科部長 原文堅 1.乳腺科部 片岡愛弓医長 2.乳腺科部 小谷はるる医長 3.形成外科部 奥村誠子部長 4.乳腺科部 原文堅部長 5.乳腺科部 吉村章代医長
5	R8.2.6(金)正午～ R8.2.24(火)正午	第5回「患者支援」 1.当院における患者支援について 2.がん相談支援センターについて 3.マンガでわかるがんサバイバル 4.アピアランス支援について 5.AYA世代(思春期・若年成人)がん患者・家族への支援	司会 婦人科部長 鈴木史朗 1.婦人科部 鈴木史朗部長(AYA世代がん患者支援委員会・委員長) 2.地域医療連携・相談支援センター 野崎由美子室長補佐 3.精神腫瘍科部 小森康永部長 4.看護部 井上さよ子専門員(アピアランス支援委員会・副委員長) 5.緩和ケアセンター 吉川恵師長(AYA世代がん患者支援委員会・副委員長)

◇視聴料:無料(ただし、通信料は自己負担願います。) ◇視聴方法:事前申込が必要

※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。

事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。

◇視聴対象者:どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

ワールドキャンサーデーに参加しました

運用部経営戦略課企画・経営グループ 主事 村上海太郎

愛知県がんセンターは、UICC(国際対がん連合)のワールドキャンサーデー※に参加しました。

当日は特設サイトに動画が配信されたほか、全国でライトアップ点灯式も行われました。

※毎年2月4日に、がんに関する意識を高め、さまざまな取り組みを行う日です。



愛知県のライトアップは名古屋城でした

第22回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました

運用部経営戦略課医事グループ 課長補佐 天野 拓哉

2月8日(土)ルブラ王山において、第22回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました。特別講演では、JA尾道総合病院の花田敬士副院長から「病診連携を生かした肺癌早期診断プロジェクトの現状」をご講演いただきました。

次回は、8月2日(土)ホテルメルパルク名古屋にて開催予定です。



公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL:052-762-6111(内線2511・2521)
FAX:052-764-2963
愛知県がんセンターwebページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/about/academy/>



医療連携のご案内			寄附のお願い	
対 応 時 間	月曜日～金曜日　午前9時00分～午後7時00分		詳細は ホームページの 「寄附のお願い」を ご覧ください	スマート フォンの 方は こちらから 
	土曜日　　　　　午前9時00分～午後1時00分　（祝日、年末年始を除く）			
電　　　話	052-764-9892（直通）			
F　A　X	052-764-9897（24時間稼働しております。）			
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp「医療関係者の方へ」－「医療連携」をクリックしてください。		PCの方は こちらから	https://cancer-c.pref.aichi.jp/donations/

外 来 診 療 担 当 表	
受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休 診 日	土、日、祝日、年末年始

※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)ー(初診)・(再)ー(再診)・(非)ー(非常勤)

2025年5月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原	室	堀尾	田近
消化器内科	原(初) 田中(初) 奥野 田近(SO)	原(初) 田近 山田(初) 桑原 松本	原(初) 羽場 田近(初) 孝田 伊藤 松本	丹羽(初)＜午後＞ 水野(初) 奥野 田中(初)＜午前＞ 伊藤(初)＜午前＞ 孝田	田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田(SO)＜午後＞
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再) 清水(淳)(再)	藤原(初) 渡辺(再) 田宮(初)	清水(淳)(初) 藤原(初) 田宮(再) 山口(初)	山口(初) 堀尾(再) 清水(淳)(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 田宮(再)
循環器科	小川			小川	
血液・細胞療法	川口(初・再) 萩原(再)	鏡味(初・再) ＜隔週は午後のみ＞ 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 河合(初) 大野(SO)(非)	川口(再) 齋藤(初・再) 大野(SO)(非)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(SO)(非)	河合(再) 萩原(初・再)
薬物療法	安藤(初) 室(初)＜午後＞ 舩石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)＜午後＞	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇＜午後＞ 舩石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)＜午後＞ 成田(初)
頭頸部外科	花井(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 別府(初・SO)＜午前＞	鈴木(秀)(再) 横井(再)(第1・3・5週) ＜午前＞ 別府(再)(第2・4週)＜午前＞ 寺田(初・SO)＜午前＞	花井(初・SO)＜午前＞ 小林(再)	花井(再)(第2・4週)＜午前＞ 寺田(再)(第2・4週)＜午後＞ 寺田(再)(第1・3・5週) 横井(再) 鈴木(秀)(初・SO)＜午前＞	別府(再) 小林(再)(第1・3・5週) ＜午前＞ 鈴木(秀)(再)(第2・4週) ＜午前＞ 小林(初・SO)＜午後＞
形成外科	鈴木(寛)(第1・3・5週) 鍋谷(第2・4週) 奥村	鈴木(寛)(第2・4週) 鍋谷(第1・3・5週) 奥村 大島	藤岡 大島 鈴木(寛)	鍋谷 奥村 大島	
呼吸器外科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	鈴木(聡)(初・再)	瀬戸(初・再)
乳 腺 科	片岡(再) 小谷(初) 遠藤(再) 原(SO)＜午後＞	吉村/片岡(初) 服部(再) 原(再)	小谷(再) 服部(初) 秋田(再) 原(SO)＜午後＞	秋田(初) 小谷(再) 原(初・再) 能澤(再)＜午前＞ 遠藤(再) 安藤(再)＜午後＞	服部(再) 遠藤(初) 吉村(再) 片岡(再)
消化器外科	植垣＜午前＞ 安部 伊藤(誠)(第1・3・5週) 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1・3・5週)	三澤 木下(敬) 奥野(正)	小森(康司) 伊藤(友) 夏目	伊藤(誠) 大内 安部 浅野	佐藤 安部(SO)＜午後＞ 稲田＜午前＞
整形外科・ サルコマーセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初)	筑紫(初)	吉田(雅)(初)		濱田(初) 藤原(初)
脳神経外科	灰本＜午後＞		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 川瀬 武内	担当医(初)	小島 川瀬(初) 北野	担当医(初)	北野(初) 川瀬 武内(初)
婦 人 科	篠田(初)	鈴木(初) 渡邊 北見(初)	植草(初) 北見(初)	鈴木(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 植草(初)	渡邊(初)
放射線診断科・ 放射線IVR科	稲葉(初) 村田	長谷川(初)	稲葉(初) 山浦	佐藤(初)	稲葉 加藤(弥)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)
緩和ケア科	下山	下山	下山	下山	下山
ペインクリニック			木村＜午後＞(非)		
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	衣斐	梅垣	衣斐	梅垣	梅垣

※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。

糖尿病外来	細川＜午後＞		細川＜午後＞	
腎臓内科			担当医＜午後＞	
皮膚科		太田(非)	本田(非)	磯部(非)
眼科		立川＜午前＞(非)		立川＜午後＞(非)
リンパ浮腫		鈴木(寛)(第1・5週) 中村(第3週) 鍋谷(第2・4週) ＜午前＞		藤岡＜午前＞

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始を除く)
※セカンドオピニオン外来は、全科に対応しています。(完全予約制・自由診療)

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名鉄線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

